

地質ニュース

昭和 53 年 10 月 第 290 号 1978

解 説	宮崎県南那珂郡北郷町 R 1 号井自噴す……………	福 田 雄 輝	1
	よみがえった日南ガス田	松 三 郎	
	飛驒古川町の蛤石……………	野 沢 保 誠 下 原 謙 五 石 井 康 夫	23
	ハイドロフラクチュアリングとマグマフラクチュアリング…小 出 仁…26 1 デンバー地震		
海外事情	マリ共和国を訪ねて		
	マリ共和国地下水開発計画調査……………	石 井 武 政	30
	ソ連極東の地学関係研究機関……………	野 沢 保 誠 青 木 斌	43
	東アジアにおける地質構造と炭化水素および金属鉱物資源 CCOPのIDOE計画について(Ⅲ-2)……………	佐 野 俊 一	48
地学と切手	モーリタニアの鉱業切手……………	P. Q.	61
	津幡 TSUBATA……………	角 靖 夫	62
	地質調査所の出版物……………	資 料 室	47

編 集 地質調査所

表 紙 の 写 真

沙 漠 の 朝

沙漠の朝は遊牧民の水汲みで始まる。7月から9月の雨期を除いては雨が降らない。井戸の水位は1月に入ると下がりはじめ5月6月に最低になる。潤れてしまう井戸もできる。沙漠の一日で動けるのは朝夕だけである。日中は気温が40°C~50°Cを超える。遊牧民は家畜のために井戸を掘り水を汲む。やぎ1頭が1日に30から40リットルの水を飲む。人間は1人1日15リットルぐらい。井戸水が乏しくなるとその1/30ぐらいの水でも我慢しなければならない。家畜は遊牧民の財産であるから家畜を渴きから絶対に守らねばならない。人間はその乳で渴きから逃れることができる。写真は動力炉・核燃料開発事業団のキャンプがあるキダールの潤れ川(ワジ)にある口径1m 深さ7mの索掘り井戸 水温29.8°C 水質良好。井戸底に溜っている水を父親がつるべで汲み ロバに乗った子供たちがなわを引いて上げる。沙漠での水の貴重さ—それは1975年5月サハラ沙漠の横断を志し半ばにして キダールの更に南方メナカの熱砂で 渴きのために22歳の青春で逝った上温湖隆君が如実に教えている。(写真 1978年3月30日 8時 気温34°C. 環境地質部 村下敏夫)

発行 株式会社 実業公報社